



株主の皆様へ

第61期 中間報告書

平成25年4月1日～平成25年9月30日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

〔 経営理念 〕

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

〔 コーポレートステートメント 〕

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のもののづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR／コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに第61期中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀の金融政策や政府の財政政策等の効果もあり、製造業を中心に景況感が改善しつつあり、個人消費にも一部明るさが見られるものの、一方で円安に伴い輸入原材料やエネルギーコストの上昇が進行するなど国内景気の下振れ懸念や雇用・所得環境は依然として厳しい状況が続くなど実体経済の回復までには至っておらず、全体としては先行き不透明な状況で推移しました。

当業界におきましては、各種の住宅取得促進政策を背景に堅調に推移しており、来年4月に予定されている消費増税の影響も相まって、新設住宅着工戸数は高水準での推移となりました。一方で住宅ローン減税拡充等、一定の対策はされているものの、消費増税による反動減、供給過多な状況による在庫リスク等が懸念され、消費の動向については、先行き不透明となっております。

このような経営環境のもと、当社グループは、木材関連事業では、引き続き収納材を主軸に取り組み、キッチン収納「ユニモ」、玄関収納「エントレージ」ほか、これまでの提案活動が着実に成果として表れ、主力製品を含めた収納材全般が好調に推移しました。

また、好調な製品受注に対応するべく、インドネシアのルマジャン工場を増設し、原材料供給能力のさらなる拡充を進めております。

電線関連事業では、大型補正予算の実施に支えられた政府の建設投資が増加し、民間の建設投資も緩やかに回復基調で推移いたしました。震災復興需要を発端とする労務単価等コスト上昇圧力や受注競争の激化により、厳しい環境での営業展開となりました。

コスト面では、円高及び原油高による原材料価格の高騰を受け、変動費の圧縮に継続して取り組むなど、収益の確保に努めてまいりました。

当社グループといたしましては、グループ一丸となり、経営資源の効果的活用、製品の品質向上、コストダウンに取り組むことで収益性を強化し、企業価値のさらなる向上に努めてまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月

++ INNOVATION NEWS

PT.NANKAI
INDONESIAベアコア生産拡大を目的に、
ルマジャン工場を増設中です。

2012年10月から本格稼働を始めたPT.NANKAI INDONESIAのルマジャン工場。

既に安定した生産体制を確立し、2013年6月より新たに、ファルカタを基材とした収納材の原材料となるベアコア（ファルカタ集成材）の生産能力倍増と原材料供給体制拡充を目的に工場の増設を開始しました。年内の生産開始を目指し順調にプロジェクトを進行しています。

これにより生産能力は、現状の月間400立方メートルから800立方メートルとなり、好調な製品受注にも対応可能な生産能力が整うことになります。

さらに今後は、東南アジア圏でのビジネスも視野に入れ製造棟の更なる増設も計画中で、最終的にはグレシック工場と合わせ月間2,000立方メートルの生産環境を構築し、すべてのベアコアを自社生産する予定です。



ルマジャン工場



各種製品の原材料となるベアコア



建設中の製造棟(9月時点)



NEW

2013年11月リリース

**収納の新しい風。空間を棚で間仕切る新発想。
新たな領域にもチャレンジしています。**



ダイニングとリビングを優しく間仕切るフィクサス

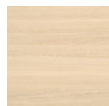
間仕切り棚 フィクサス

FIXUS

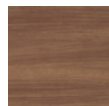
空間を優しく間仕切るフィクサス。
開放感を損なわずに収納量をアップできます。



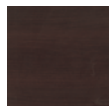
ホワイト
オープンパネル



ベージュオーク



ブラウン
ウォールナット



ブラック
ウォールナット



和室空間にもフィット



壁付けのブックシェルフタイプ

NEW

2013年11月リリース

多様化ニーズに対応。木調柄の棚板を市場投入。
さらにオーダーカットシステムを導入しました。

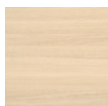


[グ레인ランバー]

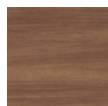
重厚感のあるグ레인ランバー。
高いデザイン性と高級感を誇るナチュラル調・
木目柄4色をラインナップ。



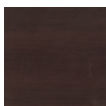
ホワイト
オープンコール



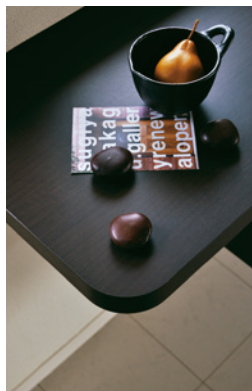
ベージュオーク



ブラウン
ウォールナット



ブラック
ウォールナット



オーダーカット加工システム [ミリット]

35mmグ레인ランバー限定
1mm単位のオーダーカット・切欠き加工・
R加工に対応します。

オーダーカット加工



1mm単位対応

切り欠き加工



1mm単位対応

R加工



30R

R加工



60R

連結財務諸表の要旨

連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)
■資産の部		
流動資産	9,861	9,555
現金及び預金	1,564	729
受取手形及び売掛金	4,961	5,034
商品及び製品	655	649
仕掛品	928	846
原材料及び貯蔵品	1,425	1,947
繰延税金資産	126	143
デリバティブ債権	41	9
その他	159	195
貸倒引当金	△0	△1
固定資産	8,581	8,834
有形固定資産	5,653	5,980
建物及び構築物	1,174	1,171
機械装置及び運搬具	480	457
工具器具備品	58	55
土地	3,890	3,922
建設仮勘定	33	353
その他	14	18
無形固定資産	501	464
投資その他の資産	2,426	2,390
投資有価証券	707	731
長期貸付金	202	118
投資不動産	1,116	1,125
その他	425	446
貸倒引当金	△31	△31
資産合計	18,442	18,390

	前連結会計年度末 (平成25年3月31日)	当第2四半期 連結会計期間末 (平成25年9月30日)
■負債の部		
流動負債	2,307	1,791
支払手形及び買掛金	1,088	791
未払金	410	370
未払費用	101	80
未払法人税等	320	261
未払消費税等	132	61
賞与引当金	216	202
その他	37	22
固定負債	140	177
繰延税金負債	2	0
退職給付引当金	104	144
役員退職慰労引当金	10	9
その他	23	22
負債合計	2,448	1,969
■純資産の部		
株主資本	16,225	16,531
資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	12,370	12,676
自己株式	△130	△131
その他の包括利益累計額	△231	△109
その他有価証券評価差額金	29	44
繰延ヘッジ損益	25	6
為替換算調整勘定	△287	△161
純資産合計	15,994	16,421
負債純資産合計	18,442	18,390

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期 連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日
売上高	6,225	6,916
売上原価	4,309	4,483
売上総利益	1,915	2,433
販売費及び一般管理費	1,789	1,902
営業利益	126	530
営業外収益	76	142
営業外費用	92	51
経常利益	110	621
特別利益	1	3
特別損失	24	6
税金等調整前四半期純利益	87	618
法人税等	31	235
少数株主損益調整前四半期純利益	55	383
少数株主利益	3	—
四半期純利益	52	383

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

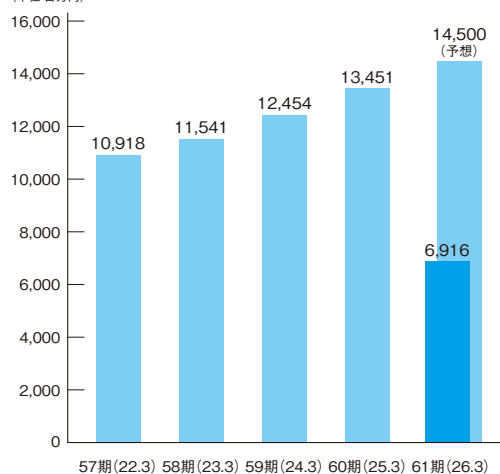
	前第2四半期 連結累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	110	△337
投資活動によるキャッシュ・フロー	△370	△444
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49	△77
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	25
現金及び現金同等物の増減(△)額	△301	△835
現金及び現金同等物の期首残高	1,276	1,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	975	729

■損益ポイント

1. 主力商品を含めた収納材全般が好調に推移、売上高の増加となっております。
2. 売上原価率が前年同期比で4.4ポイント好転しております。

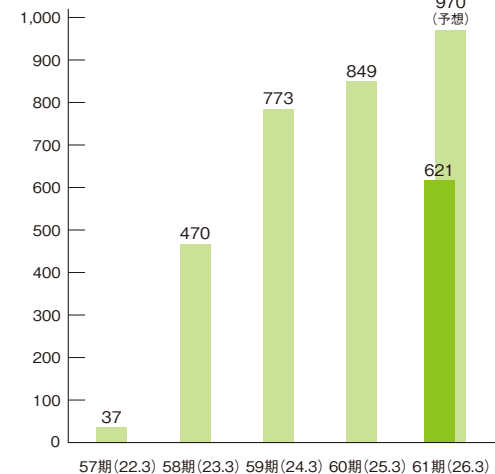
▽売上高の推移

(単位:百万円)



▽経常利益の推移

(単位:百万円)



当第2四半期累計期間の概況

木材関連事業では、引き続き収納材を主軸に取り組み、キッチン収納「ユニモ」、玄関収納「エントレージ」ほか、これまでの提案活動が着実に成果として表れ、主力製品を含めた収納材全般が好調に推移しました。

電線関連事業では、大型補正予算の実施に支えられた政府の建設投資が増加し、民間の建設投資も緩やかに回復基調で推移いたしました。震災復興需要を発端とする労務単価等コスト上昇圧力や受注競争の激化により、厳しい環境での営業展開となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高6,916百万円(前年同四半期比11.1%増)、営業利益530百万円(前年同四半期比319.4%増)、経常利益621百万円(前年同四半期比462.1%増)、四半期純利益383百万円(前年同四半期比635.1%増)となりました。

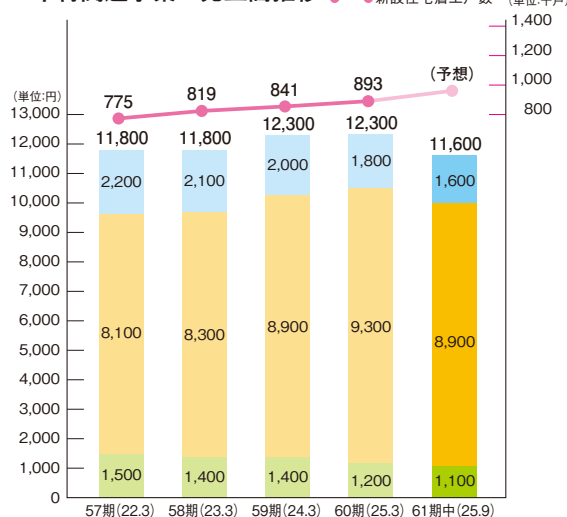
通期の見通し

住宅関連業界におきましては、雇用と所得の環境改善への期待、消費税引き上げ前の駆け込み需要等により、新設住宅着工戸数は前年同期比を上回る水準で推移しています。

このような事業環境のもとで、当社グループはさらなる企業努力を継続し、その成果が表れ、業績は好調に推移しました。

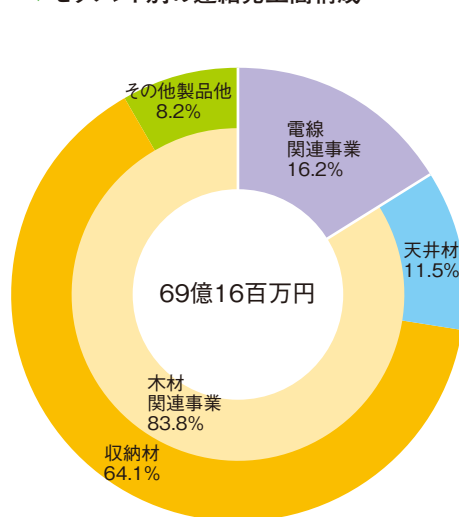
下期におきましても、新設住宅着工戸数の増加傾向は継続するものと想定され、主力製品である収納材全般の売上が引き続き堅調であること、また引き続きコスト削減にも取り組むことにより、通期の業績予想は、売上高14,500百万円(前期比7.8%増)、営業利益910百万円(前期比44.8%増)、経常利益970百万円(前期比14.2%増)、当期純利益は560百万円(前期比42.4%増)になるものと予想しております。

▼新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

▼セグメント別の連結売上高構成



株式の状況

(平成25年9月30日現在)

総数

発行可能株式総数 20,000,000株

発行済株式の総数 10,095,800株

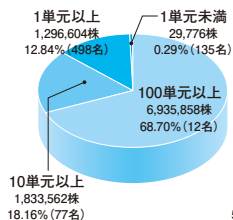
株主数 722名(前期末比21名増)

大株主

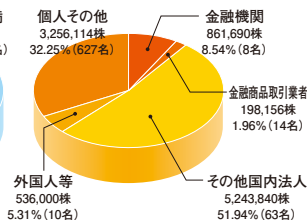
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	2,943千株	30.39%
公益財団法人南海育英会	1,554	16.05
株式会社百十四銀行	467	4.83
丸山修	302	3.12
小林茂	268	2.76
SIX SIS LTD.	265	2.73
株式会社愛媛銀行	243	2.51
南海プライウッド従業員持株会	131	1.35
株式会社百十四ディーシーカード	128	1.32
株式会社SBI証券	115	1.18

(注)当社は自己株式411,913株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

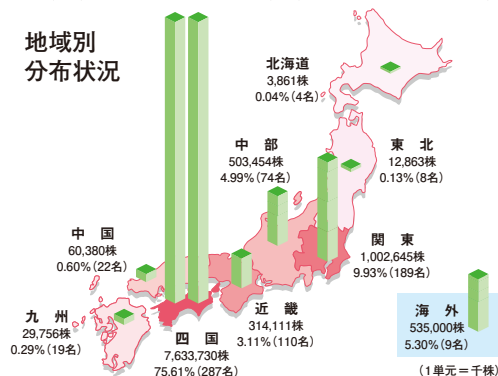
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(平成25年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネット
ホームページ <http://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
資本金 21億21百万円
従業員数 389名(連結1,731名)
事業内容 建築内装材の製造・販売
事業所 志度工場
〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
物流センター
〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
朝日新町保税倉庫
〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号
南海建材商貿(上海)有限公司
上海市長寧区崑山関路85号東方国際大廈 C座806室

役員

(平成25年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	執行役員	小野 彰三
取締役・上席執行役員	藤村 岳志	執行役員	蓮井 孝治
取締役・上席執行役員	正箱 孝史	執行役員	松浦 義博
取締役・上席執行役員	丸山 宏	執行役員	藤本 英二
取締役・上席執行役員	玉置 康洋	執行役員	大川 正仁
常勤監査役	秋山 二郎	執行役員	浮田 貴仁
監査役	大川 俊徳		
監査役	岩部 達雄		
監査役	村田 剛		

連結子会社

(平成25年9月30日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
PT.NANKAI INDONESIA
南海建材商貿(上海)有限公司

電線関連事業 ナンリツ株式会社

持分法適用関連会社

(平成25年9月30日現在)

一般管工事事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度／4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会／毎年6月に開催いたします。
- 基準日／定時株主総会の議決権 3月31日
 - 期末配当 3月31日
 - 中間配当 9月30日※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法／電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所／東京証券取引所 市場第二部(証券コード 7887)
- 単元株式数／1,000株
- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
【郵便物送付先／各種お問合せ先】
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)
〔受付時間 9:00～17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)〕



南海プライウッド株式会社